

消費税増税ストップ・学習会を開催

梅村さえこ党准中央委員が「提言」を講演



日本共産党利根沼田地区委員会は、4月21日、利根沼田文化会館で「消費税増税ストップ！社会保障充実、財政危機打開へ」日本共産党の提言の学習会を実施しました。（上の写真）講師は、北関東ブロックの予定候補者でもある梅村さえこ党准中央委員が務めました。

消費税増税になぜ反対するか！3つのカギ

◎第1のカギ *むだ遣いを続けたままの大増税！

中止を公約した八ッ場ダムや「1メートル1億円」の東京外郭環状道路などムダな大型開発を次々復活させ、完成してもいないF35を次期戦闘機として買い入れるため総額1.6兆円をついやし、320億円の政党助成金を受け取り続け、その一方で富裕層や大企業には、年間1.7兆円のあらたな減税を実施。こういうむだ遣いを続けながらの大増税は許せるものではありません。

◎第2のカギ *社会保障切り捨てと一体の大増税！

老齢年金、障害者年金の給付削減などを皮切りに、年金の支給開始年齢を68～70歳に先延ばしする、医療費の窓口負担を増やす、保育への公的責任を投げ捨てる「子ども・子育て新システム」を導入するなど、（右上につづく）

生健会が高齢者のみなさんと合同花見会

好天に恵まれ花見日よりとなった25日、利根沼田生活と健康を守る会の花見会が十王公園で盛大に開催されました。利根沼田生活と健康を守る会は、昨年12月に「派遣村運動」などを継承し結成されました。この花見会には、介護サポートかしょうの里（小規模多機能型・グループホーム）に入所しているみなさんや介護職員のみなさんも多数参加し、ビンゴゲームなどで大いに盛り上がりました。



十王公園での花見会

（左下からのつづき）社会保障のあらゆる分野で、高齢者にも、現役世代にも、子どもにも、負担増と給付削減という連続改悪を進める計画です。「社会保障と一体改革」といいますが、「一体改悪」がその正体です。

◎第3のカギ *日本経済をどん底に突き落とし、財政破綻もいっそうひどくする！

1997年に、橋本内閣のもとで強行された消費税の5%への増税と医療費値上げなど総額9兆円の負担増は、当時回復の途上にあった景気をどん底に突き落とし、その結果、財政負担もいっそうひどくしました。

今回は、消費税10%への引き上げで13兆円もの大増税になるのに加え、年金額の削減などを含めると年間16兆円、さらにすでに決められた制度改悪による年金・医療などの保険料値上げによる負担増をあわせると年間20兆円もの大負担増になります。しかも、経済危機などで国民の所得が大幅に減り、貧困と格差が広がり、多くの中小企業が経営難におちいり、地域経済が深刻な疲弊のもとにあるさなかでの大増税です。

また、東日本大震災の被災地まで情け容赦なくおそいかかる大増税を行なうなど常軌を逸した冷酷な政治といわなければなりません。

2012年4月29日 No.606

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料